

りんご摘花剤「エコルーキー」の使用について

標記の件につきまして、各地区において「えき花芽」の着生が多く見られます。

このまま「えき花芽」に着果させると初期生育が鈍り樹勢の低下、さらには次年度以降の隔年結果が心配されますので、薬剤による早期摘花や摘果を活用し作業の軽減を図るようお知らせ申し上げます。

記

1. 「エコルーキー」による摘花の実施方法（防除暦65頁参照）

散布時期 えき花芽満開（側花7～8割開花）

使用倍数 100～150倍（10a当たり300～600）

使用倍数125倍をおすすめします。

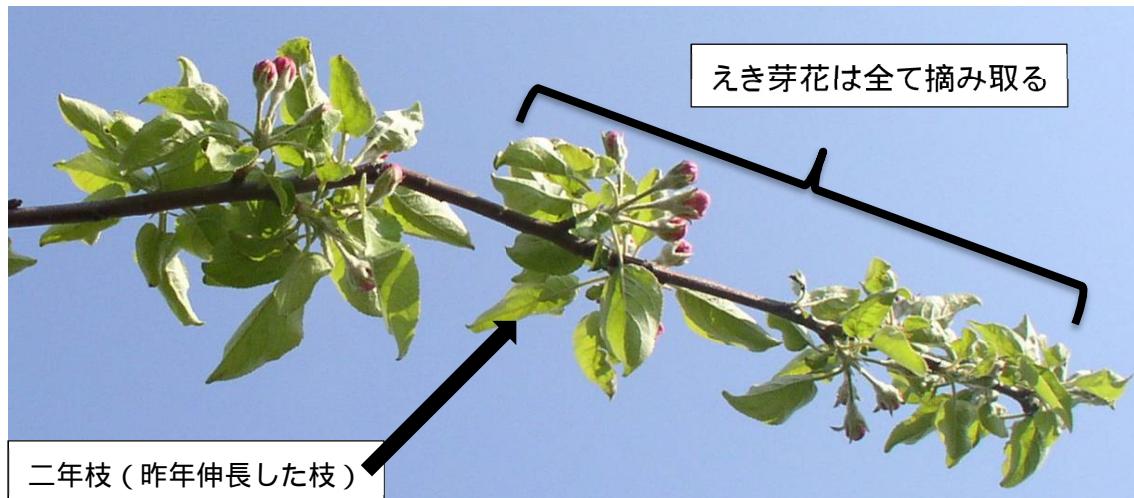
散布時の注意点

本剤の散布により、雌しべが褐変し受粉不能となり結実を阻害するので、薬剤が雌しべに十分かかるようにします。よって、SS散布の場合は低速回転で実施して下さい。

【二年枝の摘花について】

二年枝(昨年伸びた枝)のえき芽についている花芽は、品質が劣ります。

早めに摘み取り来年の花芽を充実させましょう。(薬剤摘花で作業軽減を図る)



2. 結実が確認されたら摘果剤「ミクロデナポン水和剤85」の使用をお勧めします。

散布時期 ふじ(成木)満開後約1～4週間頃

使用回数 2回以内

使用倍数 1,200倍(100 当たり83g)

展着剤を使用し、果実に十分かかるように散布する。

注意 開薬用の生花を採取する際は、薬が正常であるかを確認してから採取して下さい。

[発信部署：福島地区本部 営農経済課 554-5518]

ご不明な点は各地区指導員へお問い合わせ下さい。